

和地ひとみレポート No.236

村山上貯水池堤体強化に伴う仮締切その他工事がスタート 東大和市内の都市計画道路は



■村山上貯水池堤体の強化

…東大和市内北部にある多摩湖（多摩湖は通称。正式名称は村山貯水池）には2つの堤体があります。1つは多摩湖の東の端にある堤体で自動車は通れない堤体＝村山下貯水池堤体。この下貯水池堤体は平成20年に強化が完了してきれいに整備されています。そして、もう1つは西武ドームの前に出る道路を兼ねた村山上貯水池堤体ですが、このたび、その強化工事に伴う『仮締切工その他工事』が本格的にスタートしました。

…実は、この上貯水池堤体は東京都水道局の「整備用の道路」という位置づけですが、市が舗装面を管理することで、道路として使用しているものです。通ったことがある方は分かると思いますが、とても幅が狭く、だいぶ古いため、走行中に地震が発生したら・・・という気持ちになっていたのではないのでしょうか。この上貯水池堤防が完成したのは大正13年（1924年）。東京都水道局では、東日本大震災の教訓を踏まえ、その翌年平成24年度に改めて首都直下地震を想定した耐震診断を実施したところ、貯水機能は低下しないものの一部に変形が生じる可能性があることが判明したため、強化工事を計画。その第一弾の工事が今年着工した『仮締切工その他工事』です。

【工事実施計画】

- ① 仮締切その他工事(今回の工事)
- ② 堤体強化工事…堤体への強化盛土工事
- ③ 周辺整備工事…堤体周辺、植栽などの復旧工事

■工事期間とその後は

…今回の第一弾の工事『仮締切工その他工事』の完成は平成31年4月17日が予定されています。工事中も車両の通行は可能ですが、一時的に片側交互通行規制が実施される予定です。

…この工事終了後、堤体の東側に盛り土をして強度を高め、新たな堤体が整備される予定。道幅も9mにすることが計画されています。工事終了後は、現在堤体の下にある歩道も堤体上に整備される計画となっています。盛り土については平成30年～34年に整備予定となっており、その数年後には上記のような新たな道が整備されます。また、東京都は上北台駅から北に向かって伸びている新芋窪街道についても、この堤体の手前まで整備することを計画。『次期整備計画路線』となっているので、この先10年ぐらいの間に、何かしら着手される予定だと考えられます。

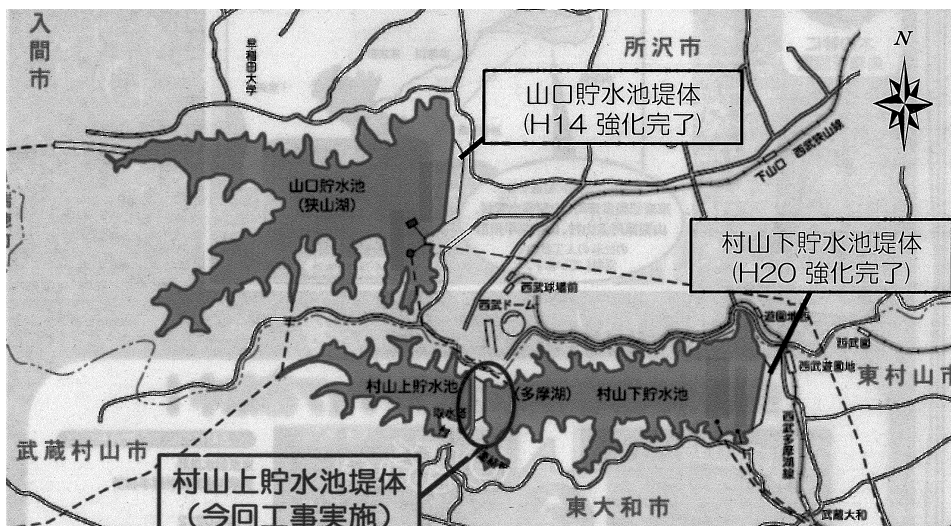
■東京都における都市計画道路の整備方針

…昨年、東京都は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を策定しました。実は都内の都市計画道路の多くは、現在の都市計画法が制定された昭和43年当時から決定されているもので、計画決定から45年以上経過しています。東京都もそれらの整備に取り組んでいるものの、その事業量の多さにより、整備に時間を要しているのが実情です。

…このような長い時間の中では、環境や必要性が変化するのは当然です。東京都では、都市計画道路

の整備に関して「活力」「防災」「暮らし」「環境」の4つの目標を掲げ、都市計画道路の果たす様々な役割や機能を考慮して、目標実現に向けて今後も必要な都市計画道路とはどのようなものか検討。15の検証項目を設け、その結果、計画内容を再検討する路線も決定しています。…その一方で、東京の将来的な課題解決に向け、重要性・緊急性を考慮し、都と区市町との適切な役割分担の下、今後10年間（平成28年度～平成37年度まで）で優先的に整備すべき路線も選定しています。

（裏面に続く）



【東京の将来像： 広域的な課題と優先路線完成後の効果】

・骨格幹線道路の整備促進

⇒優先整備路線が完成することにより、骨格幹線道路網の間成立が69%から88%に向上。

・渋滞対策の推進

⇒優先整備路線の完成とともに、交差点改良や交通ボトルネック箇所(踏切・橋りょう・交差点など)の解消を進めることにより、交通混雑を緩和し、混雑時の平均旅行速度が約18km/hから約21km/hに向上。混雑度1.25未満(*)の区間が76%から82%になる。

*混雑度1.25「を上回るという状態は、1日の中で最もこんざつする時間帯だけでなく、場合によって日中に連続的な交通渋滞が発生することを意味する。

・災害時の道路ネットワーク機能の拡充

⇒現在、緊急輸送道路に指定された路線の中には幅員が10m未満となっている区間が含まれており、火災や建物の倒壊によって閉塞されてしまう可能性がある。優先整備路線が完成することにより、幅員10m未満の区間が約70%減少する。

・生活道路の通過交通を幹線道路へ誘導

⇒地域の安全性の向上:優先整備路線が完成することにより、車道と分離された幅員3.5m以上の歩道を備えた都市計画道路が約60%(185km)増加し、歩行者の安全性が大きく向上する。

⇒拠点形成と拠点間連携:駅などの交通結節点へのアクセス強化が図られるとともに、周辺地域と連携した効果的な交通の処理の実現が図れる。

⇒優先整備路線が完成することにより、良好な住環境と利便性が調和した市街地が形成される。

…また、東京都は優先整備路線完成後の東京においては、都県境を超えた道路網が形成されることや、区部と多摩地域の連携強化も図れるようになると思っています。

■東大和市内の優先整備路線は

…このような選定を実施された中で、東大和市内にも“優先整備路線”がいくつかあります。まず、東京都が施行する計画となっている路線は、今回、強化工事が行われる貯水池上堤体につながる道路です。現在、

上北台の駅から北に向かって整備されている新芋窪街道を貯水池上堤体まで約690m整備することとなっています。この路線が優先整備路線とされた主な理由は「防災」とされています。東大和市は埼玉県と隣接しており、この堤体を渡ると埼玉県という点でも、この道路は重要な路線と位置付けられているとも考えられます。また、新青梅街道の狭山5丁目から東の約760mの区間も優先整備路線とされており、その選定理由は「骨格幹線道路の整備」とされています。

…その他、市が施行するとされている優先整備路線は2路線。1つ目は南街5丁目～6丁目の桜街道の約530mで、その選定理由は「防災」と「地域のまちづくりへの貢献」です。そして、もう1路線は東大和清水線約410mです。これは、東大和市駅からニトリまで伸びている通称「ハミングロード」の北側です。計画では青梅街道を渡った先を北に向かって道路を整備する予定で、将来的には武蔵大和駅前の整備された道路までつながることが計画されています。しかし、この計画上には既に多くの住宅があるため、実現には用地買収など、様々な課題があるのも事実です。最終的には東村山駅までの道を整備し、安全の向上を図るとともに、道路をネットワーク化することでの利便性の向上も目標にしているようですが、実現までは遠い道のりのように感じます。

■今後の道路整備の考え方は

…ここで言うまでもなく、日本は人口減少時代を迎えています。東京都においても将来的には人口減少の局面を迎えると推定されているものの、その傾向は緩やかで平成52年には1200万人を超える人口となるとされ、65歳以上の人口の割合も33%となるとしています。そして、東京都はこのような将来の人口動向を見据えて、バス交通の充実や安全な歩道設置が今以上に必要だと考えています。

…さらに、激化する国際競争の中で東京都の利便性の向上の実現化に向け、東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、利用者支店の都市インフラを備えた国際都市の実現を目指すとしています。

…確かに世界の主要都市と比較した場合、東京都の交通渋滞は大きな課題ですが、一方で、高齢化していく実情や災害を想定した「日常の安全・安心」を考慮した整備という視点も切実な課題となっています。今後は、今まで以上に財政の状況と必要性の見極めが重要になってくると思いますが、一方で、このような「街づくり」は行政にしかできないことです。長期的な展望をしっかりと描いたうえで、実行(もしくは実行しない)を決定してほしいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケット)を経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社に企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102